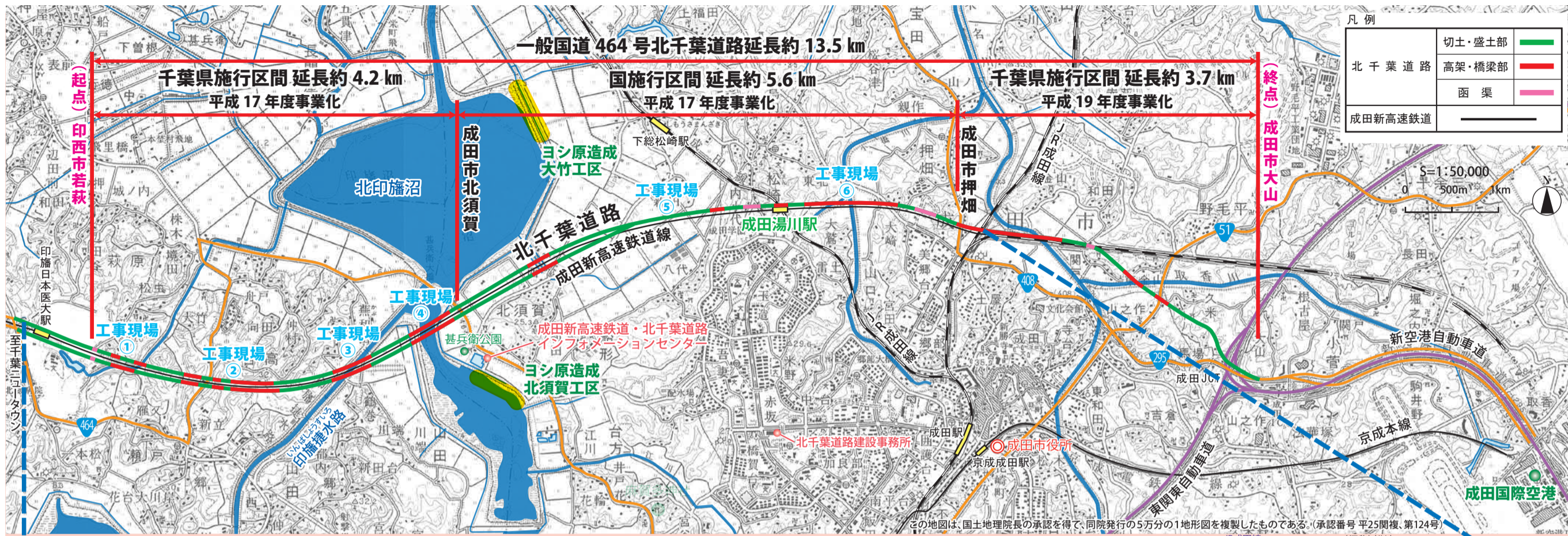


進む建設工事

すすむけんせつこうじ

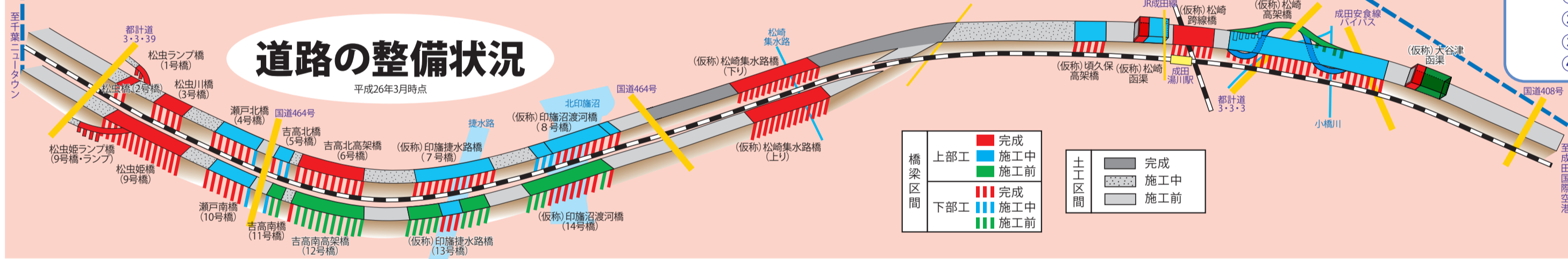


北千葉道路事業化区間平面図

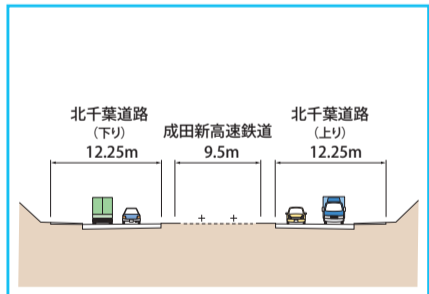


道路の整備状況

平成26年3月時点



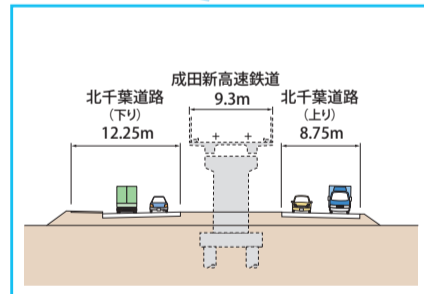
建設工事の様子



工事現場①切土部(鉄道併設部)
印西市松虫付近



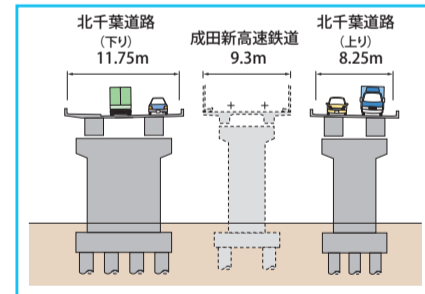
(平成21年2月)



工事現場②盛土部(鉄道併設部)
印西市吉高付近



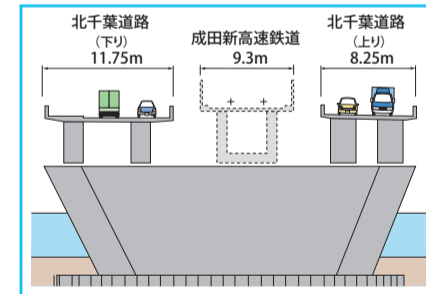
(平成21年4月)



工事現場③高架・橋梁部(鉄道併設部)
印西市吉高付近(仮称・印旛捷水路橋)



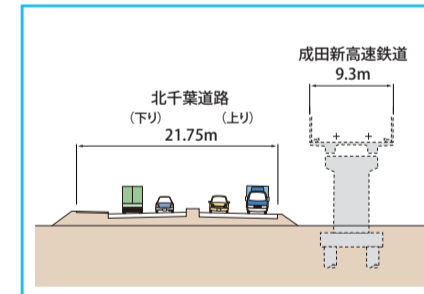
(平成21年11月)



工事現場④高架・橋梁部(一体下部工)
印西市吉高千坂~成田市北須賀付近(仮称・印旛沼渡河橋)



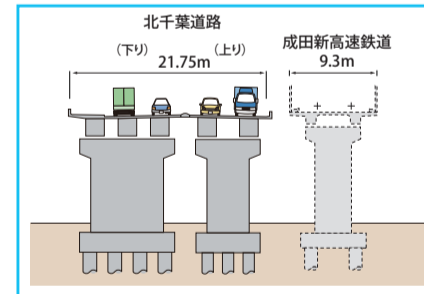
(平成21年4月)



工事現場⑤盛土部(鉄道併設部)
成田市八代付近



(平成21年3月)



工事現場⑥高架・橋梁部(鉄道併設部)
成田市松崎付近(仮称・松崎高架橋)



(平成21年3月)



(平成26年3月)



(平成26年3月)



(平成26年3月)



(平成26年3月)



(平成25年10月)



(平成25年10月)

北千葉道路の整備効果

東葛飾地域と成田国際空港のアクセス向上

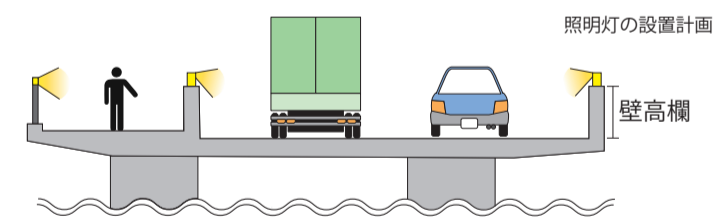
東葛飾地域(松戸市・柏市周辺)から成田地域への移動時間が大幅に短縮



～北千葉道路の主な効果～

- ① 地域の活性化
- ② 交通処理能力の向上・成田市街地の交通円滑化
- ③ 広域道路ネットワークの強化・物流の効率化
- ④ 救急医療・防災機能の強化

自然環境に配慮した道路照明



北千葉道路では、環境アセスメント(※下記参照)に基づき、誘虫性の低いLED照明としています。また、北印旛沼を渡る(仮称)印旛沼渡河橋は、高さを極力抑え、景観に配慮した形式となっており、道路照明においても、ポール照明を採用せず、高欄に照明器具を設置する形式としています。

※環境アセスメント(環境影響評価)
開発事業の内容を決めるに当たり、それが環境にどのような影響を及ぼすか、あらかじめ事業者自らが調査・予測・評価を行い、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていこうという制度。



(仮称)印旛沼渡河橋の上から見た北印旛沼の自然景観